

3/ 31 (火)

過越の小羊

出エジプト記二一章一〜28節

それは主の過越のいけにえである。主がエジプトの地で、エジプト人を打たれたとき、イスラエルの人々の家を過ぎ越され、私たちの家を救われた。(27)

神はイスラエルの民に一つの命令を与えられました。家族ごとに小羊を一頭ずつ用意して殺し、その血をとって家の入り口の鴨居と二つの柱に塗り、その肉を焼いて食べるようにというものでした。それは、彼らが食事をするその夜、主が初子を撃つためにエジプトの国中を行き巡るとき、小羊の血が塗ってある家を通り越すためでした。その血はしるしとなり、家の中にいる者たちは神の審きを免れるのです。イスラエルの民が審きを免れるのは、彼らに罪がないためではありません。ただ小羊が犠牲として献げられたからです。御子イエスは、私たちが罪の奴隷から解放するために、自ら過越の小羊となって十字架で命を捨ててくださいました。主イエスの十字架のもとに身を寄せる者たちを神は過ぎ越してくださいます。どんなときも、主イエスの十字架のもとに宿ろうではありませんか。